

日曜日礼拝順序

憩いの場

2019年9月22日 午前11時 南部チャペル

“自制心について”

前奏		鈴木義兄
頌栄	539	
開会の祈り		Scroggins 由紀牧師
主の祈り		一同
讚美	賛美歌1番	“かみのちからを とこよにたたえん”
祈りの時		Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		一同
	マタイによる福音書11章25-30節	
讚美	賛美歌2編191番	“主のまことはくしきかな”
説教	“重荷からの解放”	Scroggins 由紀牧師
讚美	賛美歌291番	“主にまかせよ 汝が身を”
献金		下竹由美子姉
報告		
頌栄	541	
祝祷		Scroggins 由紀牧師
後奏		鈴木義兄

(礼拝終光の会 午前9時30分)

“しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制であって、これらを否定する律法はない。” (ガラテヤ人への手紙5章22-23節)

聖書には自制心、セルフコントロール、という言葉が何回も出てきますが、現代の社会において、聖書以外でこの言葉を耳にすることは、あまりなくなっているのではないのでしょうか？自分がしたい放題、自由に生きるのが幸せであると思っている人たちには、自制心は古臭い道德感のように思われているかもしれません。街を歩けば、たくさんのバーがあり、多くの人であふれています。レストランに行けば、食べ放題 (All You Can Eat) のところもありますし、映画に行けば、バター付きで買えるポップコーンが山積みで売っています。食べたり飲んだりすることを際限なくできる社会です。飲食だけでなく、ストレスの多いこの社会において、何かで発散させたいという願いが、私たちが好き放題にさせ、自制心という言葉から遠ざけてしまうようです。また、いわゆるピアプレッシャーと呼ばれる、仲間からの圧力もあるでしょう。

しかし、すべてにおいて自制心が私たちに必要なのは、それが私たちが健全で幸せな生活に導くからです。ガラテヤ人への手紙5章において描かれている御霊の実のひとつは、自制です。もし自分の生活において、何かをし放題している、と感じる場合は、祈りの中で自分と向き合い、ご聖霊のお力により別の行動をとってみましょう。私たちが自制心により御霊の実をならすことができますようにお祈りします。(Scroggins 由紀)

記事: 消息

—陳百合子姉、南部勝牧師、武井里花姉、小坂るみ姉、三縄都美子姉、下竹寛子姉、Chieko Dano 姉など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。また新しく発足されました光の会に神の祝福がありますようにお祈りください。

—先週の日曜日は、荒井久和子姉、加納幸子姉のご協力により、美味しいランチをいただきました。両姉に感謝いたします。

お知らせ

—毎週日曜日、午前9時30分より、南部チャペルにて、“光の会”と題して朝のさわやかな光の中で、対話と祈りをもって気軽に集う会を設けております。キリスト教に興味がある方、教会をしばらく離れている方、祈りを必要とされている方、どうぞご参加ください。

—本日は、午後2時30分から4時30分まで、教会の Council Meeting に参加しておられるリーダーたちのリトリートがあります。該当される方は、どうぞご参加ください。

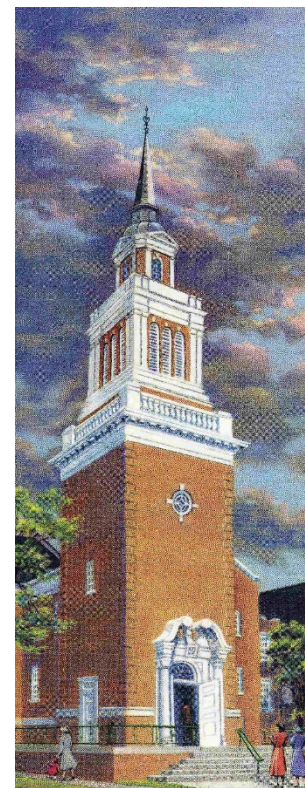
今週の讃美 : Great is thy faithfulness

<https://www.youtube.com/watch?v=IiQzzc41z5Q>

発行: 2019年9月18日ノースショアバプテスト教会日本語部

スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)

電話: 773-728-4200



週報

第3738号

2019年9月22日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640

Phone: 773-728-4200

Web: www.northshorebaptist.org